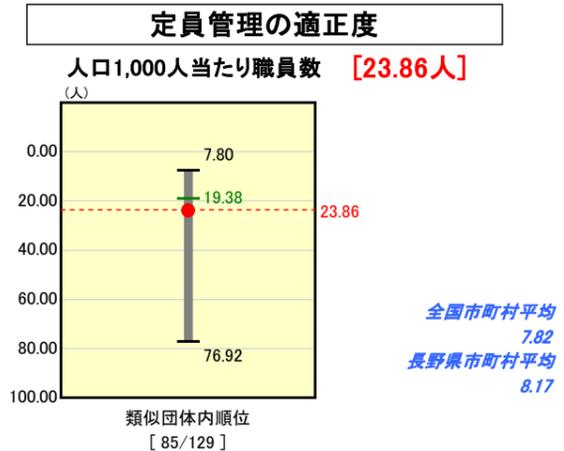
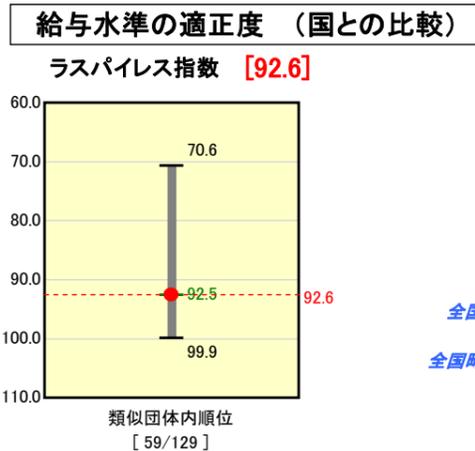
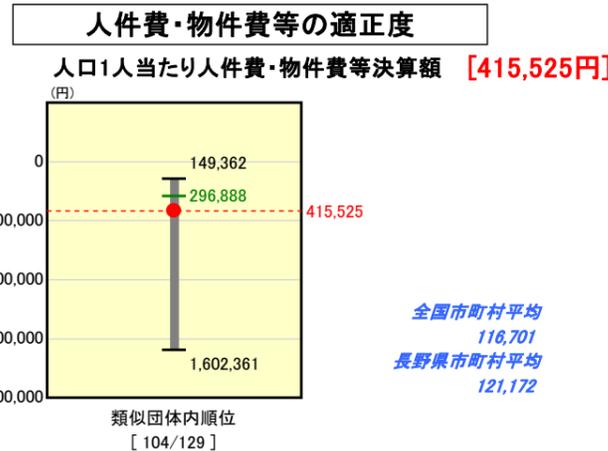
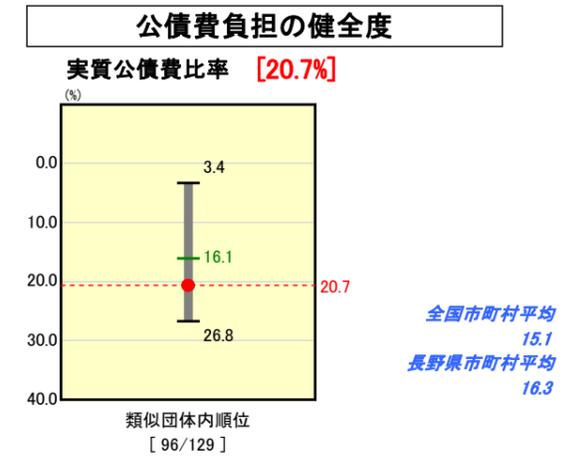
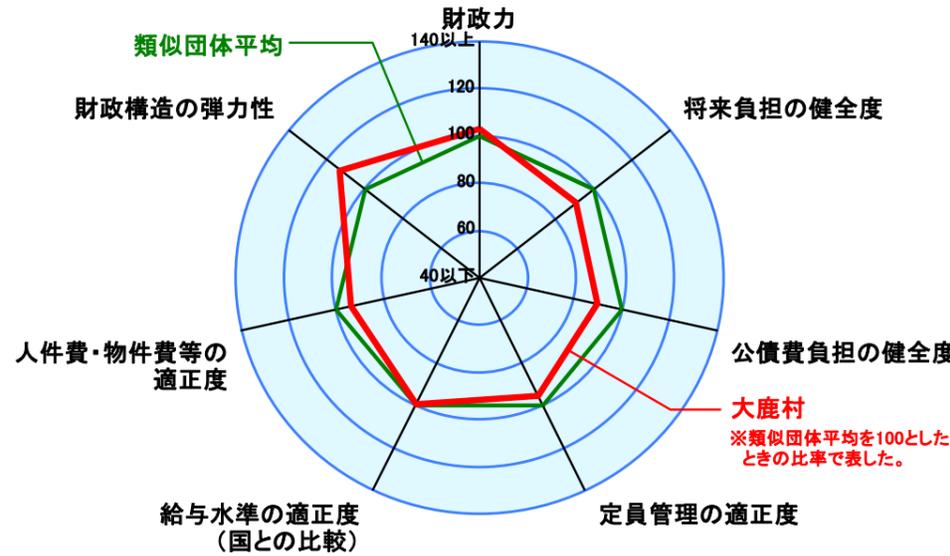
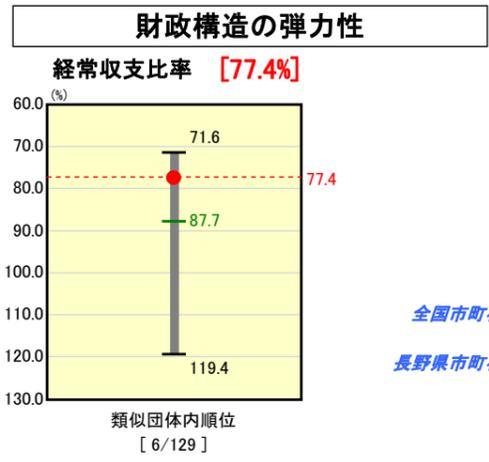
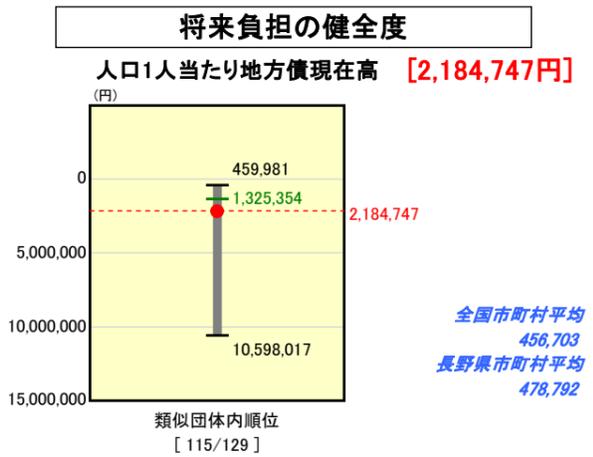
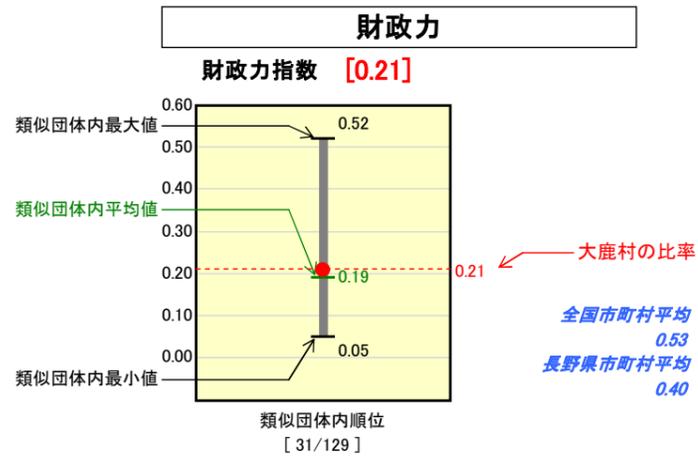


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 大鹿村

人口	1,299人	(H19.3.31現在)
面積	248.35	km ²
歳入総額	1,856,476	千円
歳出総額	1,807,264	千円
実質収支	42,677	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
類似団体平均値を0.02ポイント上回っているが、人口の減少や全国平均をかなり上回る高齢化率(H18年度末49.2%)に加え、村内に中心となる産業が無いこと等により財政基盤は弱い。今後集中改革プランに沿い歳出の効率化と財源配分の集中化を進め、自主的、計画的に財政構造の改善に努める。

【経常収支比率】
平成14年度から実施している特別職等の報酬及び一般職員の手当て等の抑制措置のため類似団体の上位に位置しているが、公債費の償還ピークをむかえたため対前年比2.7ポイント上昇している。今後集中改革プランにより義務的経費の削減に努め比率の減少を図る。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均に比べ高くなっているのは主に人件費が要因となっている。今後定員管理の適正を図る他物件費や維持補修費についても抑制していく必要がある。

【ラスパイルズ指数】
類似団体平均とほぼ同じに位置し、全国町村平均よりも下回っている。今後も条例、規則に適切した制度の運用を実施し給与の適正化に努める。

【人口1,000人当り職員数】
類似団体平均と比べ約4名上回っているが、今後退職者の不補充や事務の効率化を図る中で定員の適正化に努める。

【実質公債費比率】
公債費の償還がピークを迎えたことにより対前年比3.5ポイント上回っているが後年度は通常償還額の減少や補償金免除繰上償還制度の活用により徐々に比率は減少する予定である。

【人口1人当たり地方債現在高】
類似団体平均と比べ約90万円上回っているが、前年度の現在高と比較すると人口が減少する中約7.6%減少している。今後も地方債の発行抑制等により財政の健全化に努める。